

9月14日の記録

第1452回例会【令和4年9月14日(水)】

ゲスト紹介 (1名) ラジオパーソナリティー 内山めぐみ様

ビジター紹介 (0名)

出席報告

例会日	会員数	会場出席者	(マークアップ) 欠席者数	出席免除	補正後出席率
8月24日	32	16	—	—	—
9月14日	31	21	10	—	—

ニコニコBOX報告 9名 18,000円 ご投入頂きました。

矢野、瀬川、青木、大喜、国安院、佐久間、清水、鈴木、山路 ありがとうございます。

第1453回例会 2022年9月21日(水)

担当/SAA

「移動例会 施設説明・案内」

場所：四日市市総合体育館

講師：・副参事・総合体育館管理室長 森下 博貴様
・シティプロモーション部 スポーツ課 総合体育館管理室 堀内 基希様



概要

三重とこわか国体・とこわか大会（体操・新体操・トランポリン・空手道及びサッカー、バレーボール）の会場として約28.5haある「中央緑地」の中心的な施設として、約3,500人の観覧席を持つアリーナと弓道場を有する体育館の整備を行いました。（三重とこわか国体・とこわか大会は中止となりました。）

整備完了後

総合体育館を中央緑地の中心として、フットボール場、陸上競技場、芝生広場などと新たな連携を生み出しました。

公共交通に近いことから緑地全体が新たなスポーツの場として、また、市民の憩いの場として生まれ変わりました。

整備前

中央緑地は石油化学コンビナートと市街地を遮断する緩衝緑地として昭和43年に整備されました。

緑地内には体育館、陸上競技場、野球場、水泳場が整備され、市民の憩いの緑地として利用されてきました。

また、昭和50年に国体が開催され、水泳、体操の競技会場として活用されました。

会長挨拶

矢野 範子会長



過去最大級と言われた台風が過ぎ去り、本日は清々しいお天気になりました。

本日は、移動例会として、皆さんで四日市市総合体育館にお伺いすることになりました。卓話及び施設のご案内を、四日市市シティプロモーション部スポーツ課の森下様、堀内様にお願ひしました。

当クラブは本年で33周年を迎えますが、今までに10周年、20周年、30周年と3つの記念事業を行いました。10周年は北勢中央公園に桜の木を植樹し、20周年は大谷台保育園の園庭に芝生を植栽致しました。そして30周年には、こちらの四日市市総合体育館に飾り棚を寄贈させていただきました。飾り棚には今、沢山の賞や記念品が飾られています。

秋風が吹く気持ち良いお天気の中、立派な体育館を見学しながら、ゆったりと時間を過ごし、会員間の交流を深めていただければと存じます。

幹事報告

加門 賀子幹事代行

- ①配布資料 卓話の資料3部
- ②次週9月28日(水) 特別休会

先々週の記録

第1453回例会【令和4年9月21日(水)】

ゲスト紹介 (2名) 副参事・総合体育館管理室長 森下 博貴様
・シティプロモーション部 スポーツ課 総合体育館管理室 堀内 基希様

ビジター紹介 (0名)

出席報告

例会日	会員数	会場出席者	(マークアップ) 欠席者数	出席免除	補正後出席率
9月7日	31	20	—	—	—
9月21日	31	20	11	—	—

ニコニコBOX報告 6名 12,000円 ご投入頂きました。

矢野、藤盛、羽田、松村、高橋、山路 ありがとうございます。

【お悔やみ】

令和4年8月26日
中村十三生会員が、ご逝去されました。
謹んで、お悔やみ申し上げます。

四日市南ロータリークラブ



四日市南ロータリークラブ 会長/矢野範子 幹事/瀬川愛花 編集/広報・クラブ会報委員会
〒510-0086 四日市市諏訪栄町7-28 四日市シティホテル5F〈例会日：水曜12：30〜〉
TEL：059-353-2233 FAX：059-353-2243 E-mail：ysrc07@yahoo.co.jp

本日のプログラム

第1454回例会【10月5日(水)】

ソング：君が代、奉仕の理想
行 事：委員会プロジェクト
担 当：米山奨学委員会
卓 話：「障害者雇用について」
講 師：障害者ITカレッジ四日市 理事長 山下 広幸 様

次回の予定

【10月12日(水)】

ソング：我等の生業
行 事：委員会プロジェクト
担 当：プログラム委員会
卓 話：「鈴鹿ポイントゲッターズの紹介とJリーグに向けて」
講 師：鈴鹿ポイントゲッターズ 営業部 原 祥太郎 様
選手兼営業 佐藤 和馬 様

第1451回例会 2022年9月7日(水)

担当/IM実行委員会

「グローバル補助金申請に向けて」

講師：

三重大学大学院医学系研究科生命医学専攻
臨床医学系講座 形成外科学分野 教授 成島 三長様
三重大学形成外科医 ザンビア出身 チヘナ ハンシニ バンダ様
四日市北ロータリークラブ ロータリー財団委員長 松井 法子様



成島様



チヘナ様



松井様

四日市南ロータリークラブの皆様、こんにちは。
本日はアフリカマイクロトレーニングセンター設立

2022年10月5日 会報第975号

Rotary Club Yokkaichi South
Rotary International District 2630



イマジンロータリー

第2630地区 ガバナー 高橋 伸治(岐阜 R C)

10月のお誕生日
20日 早川 彰会員

のご相談のためのお話をさせていただける機会を頂きありがとうございます。

本日のお話の内容です。初めに、アフリカのザンビアの医療の現状について、次にザンビアからの留学生のバンダ先生について、そして最後にマイクロサージャリーセンター設立のお願いについてお話したいと思います。

ザンビア国はアフリカ大陸の中央部にあり、面積は日本の2倍、人口は1700万人です。人口の約55%が1.9ドル未満で1日を過ごしています。主な資源は銅でこれが国の収入源となっています。ザンビアの警官はピストルを持っておらず、アフリカの他の国に比べて安全で民主的な国と言われています。

ザンビアの医療の現状について、実際にあった一例をお示しながらお話させていただきます。ある11歳の女の子が毒蛇に噛まれてしまいました。近くには治療を受けるところが無い為、歩いて数時間の祈祷師のところへ手当を受けました。次に丸一日歩いて行ける村単位にある地域の健康センターに行きました。ここでは簡単な処置のみを受けることが出来ます。さらにもう少し大きな都市にかかれば医師のいる市民病院を受診することが出来ますが、そこにかかるまでに2日ほどかかります。そしてもっと大きな病院にかかることができれば、専門的な技術を持った医師がおり、運がよければ治療を受けることが出来ます。ただし受診までは徒歩で行った場合には6日かかります。この女の子は毒蛇に噛まれてから6日経ってしまい、かなりの皮膚壊死を来しましたが、植皮法で助かりました。

このようにザンビアではいまだに貧しく、地方では火を使って食事を作っており、その周りを子供が遊んでいるという状況がよくあり、誤ってひどい火傷になってしまうことが日常茶飯事です。先程の女の子は幸運にも大学病院にかかることが

出来ましたが、一般的にザンビアでは1つの家庭に平均6人の子供がおり、多くの場合1人の子が火傷をしても遠く離れた所まで治療に行くことが現実的には不可能な場合が多くあります。

こちらは1897年に火傷の治療を行ったある有名な日本人の手です。この手の持ち主は野口英世です。小さい頃の火傷のため固まった手を手術で切り開くだけでと元に戻ってしまいますが、そこへ当時の最新技術をつかって皮膚を移動させる手術を行い、手を自由に開け閉めできるようになりました。この野口英世の話は120年前の日本の話ですが、ザンビアでは2022年現在同じことが起こっています。

そのザンビアから三重大学は1989年に初めて大学院生を受け入れたことから交流が始まりました。交流は現在まで続き、大学間協定を結ぶほどの非常に強い絆で結ばれています。そのような関係の中からマイクロサージャリーに興味のあるというバンダ先生を受け入れることになりました。バンダ先生は2013年にザンビア大学医学部を卒業し、2015年からザンビア大学こども病院で勤務をしていました。その時に多くの救われない子供の患者さんを目にして最新の治療技術を習得したいと希望し来日しました。おそらくバンダ先生はザンビア人初の形成外科医となりザンビア形成外科の父となる人物です。このバンダ先生と協力してザンビアの医療が発展し、アフリカの子供達が幸せな生活が出来るよう皆様のお力をお借りできればと思っております。

その地域における地元の医療水準を上げることが、その国や地域の発展には不可欠です。ザンビアにマイクロサージャリーができる医師を育成することが出来れば、そして更にそれがアフリカ地域の他の国へも広めることが出来るようになり、多くのアフリカの人々の命と生活を救うことにつながると考えています。

ザンビアの首都はルサカと言いますが、50年後の2075年には人口1452万人の超巨大都市となると予想されています。この場所にマイクロトレーニングセンターを設立しザンビアを含めた継続的なアフリカのトレーニング拠点とすることでアフリカの発展及び三重、そして日本との強力な友好関係を深める一助となると考えております。

ロータリークラブの皆様のお力をお借りしてこのセンターを設立し、より多くのアフリカの人々を救いたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

「クラブ研修リーダーセミナーに参加して」

佐久間 紀（クラブ研修リーダー）

去る8月27日（土）12時30分より岐阜グランドホテルで開催された、第2630地区クラブ研修リーダーセミナーに参加してきました。

3年前に辻PG年度に“クラブ研修リーダー制度”が設置され、その後コロナ禍により活動は停止状態でしたが、剣田PGが当年度の地区研修リーダーと

なったことより本セミナーが復活した訳です。

『入会3年未満の新入会員のほぼ半数が、ロータリーの魅力を見出せずに退会していく』といった厳しい現実をしっかりと認識し、各クラブが定期的にしっかりと研修を行って行く必要がある、ことが求められています。

ロータリーの行動理念や辿ってきた歴史などをしっかりと学習し、職業奉仕を中心に四大奉仕活動を継続できるように、研修を行う必要性を感じ取りました。

クラブ会長やガバナー補佐と相談しながら、今後どのようにクラブ研修を進めれば良いかを検討していきたいと考えています。

理事役員会報告 9月7日（水）

審議事項

- 2022年8月 青森県豪雨災害支援金のご願い
ニコBOXより支出 承認
- SAAより「移動例会(9月21日)」について 承認
- IM実行委員会解散と予算について
*案内状と中止の連絡の送料 5,796円
(通信費より支出) 承認

会長挨拶

矢野 範子会長



8月24日の例会は、私がコロナウイルスに感染したためお休みをいただき申し訳ありませんでした。コロナに負けず例会を開催しましょうと申し上げておりましたので、私自身とても気をつけていたのですが、とうとう感染してしまいました。どんなに気をつけていても避けられない場合もございますので、皆様も普段から免疫力アップの生活を心がけてください。

先月、大好きな中村十三生会員がご逝去されました。私は告別式でお別れができませんでしたので、昨日、ご自宅に伺って参りました。本当に直前までお元気だったのに急なことで奥様もご家族もまだご実感がわかないとのことでした。中村さん…本当に寂しいです。本当に残念です。奥様のことをとても大切にされ、ユーモアと優しさに溢れたお人柄で、私も沢山助けていただきました。中村さんの明るい笑顔、温かいお言葉は、皆さんの心の中にこれからもあると思います。心よりご冥福をお祈りします。

幹事報告

瀬川 愛花幹事

- ①配布資料 ロータリーの友・月信・会報
- ②地区大会（10/22(土)・23(日)）出席のお願い
- ③第20回記念ロータリー全国囲碁大会
（11/5(土)会場：東京）のご案内
- ④本日理事会があります（13：30～高砂の間）

9月7日の記録

第1451回例会【令和4年9月7日(水)】

ゲスト紹介（3名）

三重大学大学院医学系研究科生命医学専攻
臨床医学系講座 形成外科学分野 教授 成島 三長様
三重大学形成外科医 ザンビア出身 チヘナ ハンシニ バンダ様
四日市北ロータリークラブ ロータリー財団委員長 松井 法子様

ビジター紹介（2名）四日市北RC 橋本 浩様 植村秀人様

出席報告

例会日	会員数	会場出席者	(メークアップ)欠席者数	出席免除	補正後出席率
8月10日	32	16	—	—	—
9月7日	31	20	11	—	—

ニコニコBOX報告 **13名 38,000円** ご投入頂きました。
四日市北RC 橋本 浩様、植村秀人様、松井法子様
矢野、瀬川、今井、伊藤、国安院、佐久間、清水、金、
松村、山路 ありがとうございます。

第1452回例会 2022年9月14日（水）

担当/広報・クラブ会報委員会

「今から始めるSDGs」

講師：内山めぐみ様（ラジオパーソナリティー）



『SDGs 持続可能な開発目標』最近テレビや新聞など、よくメディアで取り上げられ、耳にすることが多くなりました。バッジを付けている方も見かけます。

2030年までに世界で目指す目標です。言葉の認知度が上がる一方で、その中身についてや、更に行動に移すところまでには、まだまだのところもあります。

遠い世界のことでなく、日本では何が起きているのか、私たちの日常の中にどんな問題があるのか。どんなことができるのか。

【買い物の際の工夫】
買い物に行った際に出来ることはたくさんあります。エコバックの活用などプラスチックの利用を避ける。スーパーの「訳あり品」を積極的に買ったり、消費期限が近い商品から買うようにする。また、無駄な買い物を控え、食べ切れる、使い切れる量の買い物をすることで、食品ロスの削減につながる。

【日々の暮らしの中での工夫】
エアコンの使い過ぎによる電力消費を抑えるために、断熱・遮熱カーテンを使用したり、衣類で温度調節をする。外出の際には水筒やマイ箸・スプーン等を持ち歩く。ジム通いをするなど運動を習慣にすることが、健康につながり、ひいては医療や介護問題の解決にも。

【職場等での工夫】
介護や育児中の人でも働き易いよう、お互いを認め

合い支え合いながら働ける環境を作る。性別や年齢、役職に関係なく、意見を出しやすい職場の雰囲気や制度を作る。残業ゼロを目指し、定時に帰るようにする。紙の印刷を出来るだけ控え、印刷する際は環境に優しいインキや用紙」を使用する。男性は～、女性は～、といった言葉を使わない、考え方をしないようにする。

「目標が変われば、行動が変わる。行動が変われば未来が変わる。」

今の世代、次の世代へつなぐためには…今すぐ出来ることは？ということを考えていただく時間になれば幸いです。



会長挨拶

矢野 範子会長



一昨日、金会員にお子様がお生まれになりました。おめでとうございます！金会員にとって今は特に大事な時期で、夫・父親としての対応を間違えると今後の夫婦関係に多大な影響が出ます。何事も想像力を大切に…と、老婆心ながら申し上げます。

RI会長も、想像力を豊かにすることは世界を広げ明るい未来へ繋がる、と強調されております。最近3才のお子さんが通園バスに取り残され、熱中症で亡くなる事故がありました。大人がもっとリスクに関して想像力を働かせていれば、胸が詰まる程の悲しい事故は防げたのではないかと思います。携帯やパソコンで簡単に情報が手に入る現代、とても便利です。でもその分、大人も子供も、想像力を働かせ自分で考えることが疎かになっている気がします。リアルな体験を重ね、いろいろな立場・年代の人と話し互いに疑似体験をする、自然に触れ、芸術や文化に興味を持つことで、想像力は豊かになると思います。

私も皆様と共に豊かな人間になっていきたいと思っております。

幹事報告

瀬川 愛花幹事

- ①配布資料 卓話の資料
- ②例会のお知らせ
次週（9/21(水)）移動例会です
場所：中央緑地公園 四日市市総合体育館
点鐘：12：30
- ③9/28(水)は特別休会です